

助成事業申請書（手引き）

必ず8枚以内でまとめてください

公益財団法人あいちコミュニティ財団
事業指定プログラム「ミエルカ」2015
助成（寄付募集）事業申請書

投函日をご記入ください。

公益財団法人あいちコミュニティ財団 御中

申請日： 年 月 日

1. 申請団体について

団体名ではなく事業名をご記入ください。

(1) 基本情報（※のみ【公開】 選考の参加者に公開します）

事業名（※） （寄付募集事業名）			万円単位でご記入ください。
申請金額（※）			万円
（ふりがな） 団体名（※）			代表印を押印ください。
（ふりがな） 代表者氏名 （役職）	（ ）		ビルやマンション名も ご記入ください。
団体所在地	〒	TEL :	
		FAX :	
（ふりがな） 担当者氏名 （役職）	（ ）	E-mail :	
		TEL :	
「募集説明会」「個別相談会」への参加	募集説明会 ・ 個別相談会（○を付けてください）		
希望コース	フレンドレイザー ・ 東海チャプター （○を付けてください）		
認定ファンドレイザー認定者 （○を付けてください）	准認定ファンドレイザー	有 ・ 無	
日本ファンドレイジング協会が 実施する資格制度です。	氏名 :	役職 :	
	認定ファンドレイザー	有 ・ 無	
CANPAN での情報開示レベル★5つ取得	氏名 :	役職 :	
	済 ・ 未	（○を付けてください）	

今回の助成事業の実務上の責任者となる方をご記入ください。

日本ファンドレイジング協会が
実施する資格制度です。

(2) 地域や社会のありたい姿（ゴール）と、申請団体が果たす役割（ミッション）

地域や社会のありたい姿 （ゴール）	
申請団体が果たす役割 （ミッション）	

(3) 団体の強みと弱み、外部環境の機会と脅威（各項目3つまで）

内部	【強み】	【弱み】
	資源、顧客サービス、価格、コスト、市場における知名度・評判、環境、人材、財務など	
外部	【機会】	【脅威】
	・ 競合他社の動向、市場の伸び、法規制、景気動向、ニーズの変化など ・ 外部環境は、団体のことではなく、地域や社会のことをご記入ください。	

(4) これまでの主な事業と成果（補助・助成事業の場合は、補助・助成元と金額も記入してください）

※概要を箇条書きで記入してください。

数が多くて書ききれない場合は、
金額の大きいものから順にご記入ください。

2. 申請事業について

(1) 解決に挑む地域や社会の課題（800字程度）

※申請事業で解決を目指すのはどんな課題ですか？ 課題の当事者はどんな人で、その声や数字の根拠を示すなど、問題の深刻さや解決の緊急性・重要性、既存の解決策の不十分さ等を説明してください。（「あいち『見える化』ウェブ」（<http://aichi-community.jp/mieruka/>）に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください。）

(2) 申請事業の目的と概要（800字程度）

※申請事業で上記の課題をどのように解決しますか？ 解決策としての有効性等を説明してください。（「あいち『見える化』ウェブ」に掲載している過去の助成先の事例もご参照ください。）

(3) 申請事業の対象者・受益者（優先順位の高い順に、最大3つまで記入してください）

	対象者 (地域や年齢層も記入してください。)	対象者の主な課題	対象者の総数	申請事業の受益者数
1				
2				
3				

具体的にご記入ください。

(4) 申請事業の具体的な計画と目標

※事業実施期間：2016年4月1日～2017年3月31日のうちで任意

	計画内容	具体的な数字目標
4月		
5月		
6月		

必ず数字目標をご記入ください。

7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

(5) 実施体制（役割分担や協力先なども記入してください）

	担当者氏名 会社名、外部団体名	団体との関係	役割・担当業務 (できるだけ詳細に)
1			
2			
3			
4			
5			
6			

内部の人員体制、外部の協力者、ステークホルダーなど、
できるだけ詳細にご記入ください。

(6) 申請事業が地域や社会にもたらす価値（優先順位の高い順に、最大 3 つまで記入してください）

※申請事業は地域や社会にどんな効果を与えますか？（できるだけ数字で記入してください）

記入例	中長期展望 (3~5年後の 申請事業の方向性)	ビジョン (申請事業終了時の 到達目標)	KPI (ビジョン達成を 判断するための評価指標)
1	就労支援を通じた雇用を年 3 件以上創出している。	就労支援を通じた雇用創出が 1 件できている。	利用者の就職面談の練習を月 5 回以上行っている。
2	精神障がい者が社会に復帰する前段階の居場所となっている。	精神障がい者が社会に復帰する前段階の居場所となっている。	利用者の 80%が週 2 回以上休まずに通うことができている。
3			

(7) 申請事業実施後の展望

※申請事業実施後はどのように事業を展開しますか？

記入例	申請事業実施後（2017年4月以降）
組織 (実施体制)	スタッフ 1 名を雇用し、事業を継続する。
事業 (実施内容)	就労支援のプログラム内容を 2 種類から 3 種類に増やす。
財源 (資金調達)	会費・寄付収入の割合を収入総額の 10%から 20%に拡大する。

(8) 申請事業の収支予算 ※「収入合計」と「支出合計」は金額を同じにしてください。

【収入】

	内訳	金額 (円)
1) 本助成金		
2) その他収入		
	収入合計	

金額の単位は、
すべて円としてください。

【支出】

費目	内訳および積算根拠 (単価、個数など)	金額 (円)	
		本助成金	その他収入
	支出合計		

ページをまたがないように
調整してください。

(9) 「フレンドレイザー」および「プロボノ」に希望する支援内容

3. 寄付募集への取り組みについて

(1) これまでの取り組み (各項目ともいづれか選択)

現状

まったく取り組んでいない / 取り組んでいるが積極的ではない / 積極的に取り組んでいる
その他 ()

寄付募集に取り組んでいる期間

なし / 1年以内 / 3年以内 / 3年以上

寄付を募集する担当者

いない / 兼任がいる / 専任がいる / その他 ()

寄付を募集するためのツール (チラシやホームページなど)

ない / ある / 新規作成中 / リニューアル中 / その他 ()

(2) “志金” 調達計画 (期間: 2015年12月10日~2016年3月18日)

※具体的な寄付を獲得するためのプランをご記入ください。

方針 (大切にしたいこと)			
ターゲット (対象)			
	全体の予定	計画内容	具体的な目標
12月	●6日(土): 寄付募集計画 発表会		
1月	●9日(土): ドネーションパ ーティ ●30日(土): 中間報告会		
2月			
3月			

寄付を集めたい対象者は誰か、
具体的に設定してください。

各月末に到達したい状況や状態を、
できるだけ数字でご記入ください。

以上